



飯田高校便り

(校長版)

令和5年5月1日

【第19号】

お疲れ様でした！

5年ぶり、伝統行事復活！

“第66回独立記念強歩大会”開催

4月27日（木）、過去4年間新型コロナウイルス感染拡大のため、実施できずにいた飯田高校の伝統行事の一つである『独立記念強歩大会』が、雲一つなくまた無風という絶好の天候の下、5年ぶりに開催することができました。

本校は明治33年（1900年）4月1日に長野県松本中学校飯田支部から独立し長野県飯田中学校となり、開校式を挙行した4月15日が独立記念日となっています。そして、この日を記念した強歩大会が1956年（昭和31年）から始まりました。当初は70キロを夜通し歩く伝説の“夜間強歩”でしたが、私が入学した1978年（昭和53年）から日中の強歩大会となりました。（今思えば夜間強歩を経験したかったです）その後、交通事情などを考慮して、コースや距離も変わり、今回のコースとなっています。

今回は、本校をスタートとして元善光寺を經由し、高森町の天伯公園を往復する約20キロのコースで、646名が参加しました。元善光寺から天伯公園までのひたすら登り続けるコースは大変だったようですが、ほとんどの生徒が自分のペースで走り切り、あるいは歩き切り、補助員の生徒や先生方の拍手や声援に迎えられて、疲れた様子でしたが清々しい表情でゴールしました。

☆男子1位：中島尚哉君（3E）1時間33分58秒

☆女子1位：神崎由桜さん（1B）2時間17分32秒でした。

3年の男子生徒に様子を聞いてみると、「最初で最後の強歩大会だったが、伝統行事に参加することができて良かった」と話してくれました。高校時代の良き思い出とすることができたのではないのでしょうか。

飯田下伊那地区の高校では、交通事情や新型コロナウイルス感染拡大などを契機として、強歩大会の開催を見合わせる高校が多くなってきていますが、本校では今後とも貴重な伝統行事、そして高校時代の貴重な経験として継承していきたいと思います。



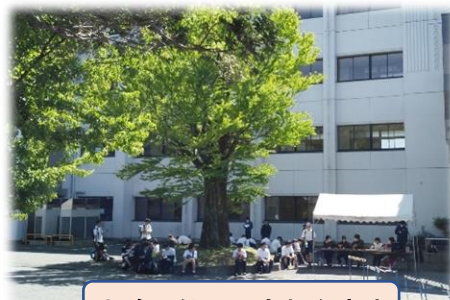
勢いよくスタート！



まだまだ続く上り坂…



仲良くゴール！



木陰で仲間と疲れを癒す